

木造住宅バルコニー
FRP防水施工標準仕様書

<平成24年改定版>

FRP防水材工業会 (FBK)

木造住宅バルコニー FRP防水施工標準仕様書

－ 改定の趣旨と経緯について －

木造住宅バルコニー「FRP 防水施工標準仕様書」は、2005年（平成17年）に刊行されて以来、設計の方々や木造建築に携わる多くの方々に利用されてきました。

その後、2008年にFRP防水が日本建築学会標準仕様書・JASS8（防水工事）に新規仕様として採用されたこともあって、本仕様書は2009年（平成21年）に以下の通り小規模改定を行いました。

- ◆ 下地勾配を1/50以上から1/100以上に変更。
- ◆ 防水層の仕様について、JASS8記載のL-FF仕様との整合を図った。
- ◆ 防水用樹脂、ガラスマットの品質をJASS8品質規格によるものとした。

しかし、2010年以降になると、様々な面においてFRP防水に対する社会的要求も変化し、かつ増大してきましたが、それらを背景に本仕様書改定の必要性が生じてきました。

その背景の一つには、2010年に刊行された「FRP 防水工事施工指針・同解説」（日本建築学会）でFRP防水の木造住宅バルコニーへの適用が明記されたことがあり、更には住宅瑕疵担保保険法人各社の設計施工基準に木造住宅バルコニーFRP防水に関する基準が設けられたこと、などがあります。

一方、当工業会においては、環境負荷の低減に寄与するべく、環境対応型FRP防水材料の認定制度を2010年より開始しました。この制度は、環境に対する配慮事項を取り決めた「環境基準」と、FRP防水に要求される基本的な性能を確保するための「品質基準」を同時に満たす材料を「環境対応型FRP防水材料」として認定する制度で、当工業会としてもこれらの認定品を環境対応製品として普及させるべく積極的に支援しております。

以上のような背景に基づき、この度当工業会・技術委員会では本仕様書の改定を行いました、なお、今回の改訂の要点は下記の通りです。

- ◆ 防水層の仕様として「通気緩衝仕様」を新たに記載した。
- ◆ 防水層各部の納まりを明確化した。
- ◆ 環境対応型FRP防水材料の適用を示した。

2012年11月

FRP防水材工業会 技術委員会

目 次

1章 総 則	
1.1 適用範囲	1
1.2 用語	1
2章 防水下地の基本要件	
2.1 下地の構造	4
2.2 下地の状態	5
2.3 ドレン・オーバーフロー管	5
2.4 納まり図の一例	6
3章 防水層の仕様	
3.1 防水層の仕様	9
3.2 防水層の保護・仕上げ	10
3.3 環境対応型防水仕様	11
4章 防水材料	
4.1 プライマー	12
4.2 防水用ポリエステル樹脂	12
4.3 防水用ガラスマット	13
4.4 通気緩衝シート	13
4.5 硬化剤	14
4.6 トナー	14
4.7 保護・仕上げ材	14
4.8 パテ材	14
4.9 面木	14
4.10 絶縁用テープ	14
4.11 ドレン・ストレーナー	14

5章 施 工

5.1 事前確認	15
5.2 施工前下地確認	15
5.3 ドレンの取付	16
5.4 FRP 防水施工方法	16

6章 施工管理

6.1 工事前の対策	19
6.2 材料の保管	19
6.3 施工時の天候と環境条件	20
6.4 現場（施工箇所）の養生	21
6.5 施工時の安全衛生	21
6.6 防水層の養生	22
6.7 廃材の処理	22
6.8 防水工事業者の指定	22

7章 注意事項

7.1 火災予防事項	23
------------	----

付属資料-1 FRP 防水材工業会会員各社の防火認定構造一覧表

付属資料-2 木造住宅バルコニーFRP 防水チェックシート

付属資料-3 バルコニーにおけるFRP 防水層を維持管理する上での注意事項

付属資料-4 FRP 防水材工業会会員名簿